

市町村合併情報

成田市との合併は当面見合わせ！

富里市・栄町・多古町・芝山町・神崎町の5市町は、昨年11月から首長による懇談会を開催し、まちづくりなどについて意見交換をしていく中で、県が示した成田市を含む2市4町の市町村合併の重要性を再認識したことから、8月5日、成田市に対して合併実現へ向けた協議の申し入れを行ないました。

この申し入れに対して小泉成田市長は9月29日、1市4町の首長に文書で次のように回答がありました。

「平成18年3月に旧下総町及び旧大栄町と合併し、新成田市のまちづくりに全力を傾けて努力をしているところでございます。新しいまちづくりには、地域の拡大から生じる道路や農道などの大規模事業にも対応していかなければならない時期となっております。更には、合併に伴う財政優遇措置には10年間の期限があることから、この特例期間の中で、人員削減など

の行政改革と財源確保を図り、新市の一体化と大規模事業を推進していかなければならないと考えております。

また、成田空港を活かした地域づくりでは、現在、空港周辺9市町で構成する成田国際空港都市づくり推進会議において、地域で空港を支え育てるまちづくりの推進を実感できるまちづくりの推進を目指し、魅力あるまちづくりを実行に移していくことが肝要であると考えております。

このようなことから、新たな合併に取り組むよりも当面の課題に全力を傾注してまいりたいと考えております。」

この回答を受け、1市4町の首長は10月14日、懇談会を開催。様々な意見が出た中で、成田市との合併は当面見合わせし、懇談会の活動は休止することになりました。

お問い合わせ まちづくり課
72 2 1 1 4 (直通)

教育委員、監査委員が就任

浅野脩前教育長並びに石井浩前監査委員の任期満了に伴い、10月22日に開かれた臨時議会において、池上真人氏（神崎本宿）が教育委員に任命同意され、10月23日付けで就任されました。

また、監査委員には坂本正男氏（神崎神宿）が選任同意され、10月25日付けで就任されました。両委員の任期は4年間です。今後の両氏による各分野における町政での活躍が期待されます。



教育委員
池上真人氏

池上氏は、茨城県の小中学校の教員を37年間勤務し、旧東町の西小学校校長を2年間務められ、平成17年3月に退職されました。その後、稲敷市教育委員会で学校教育指導員として勤務し、文部科学省委嘱の学校評価委員もされています。さらに、平成19年7月から本町の人権擁護委員としても活躍されています。

同氏の教員としての豊富な経験が生かされ、本町教育行政の発展に貢献されるものと期待されます。



監査委員
坂本正男氏

坂本氏は、昭和36年4月に郵政省に入省し、昭和57年7月から23年間神崎郵便局長を務められ、平成17年3月に退職されました。また、その間、昭和60年11月から8年間教育委員会委員を、平成7年12月から9年間行政改革推進委員会委員も歴任されました。

本町の会計及び予算の執行に関して、同氏の豊かな見識と今までの経験が発揮され、公平かつ厳正な監査業務が期待されます。

※10月24日に開かれた教育委員会臨時会において、教育委員の互選により澤田健委員（大貫）が同日付けで教育長に就任されました。就任のあいさつは12月号で掲載をいたします。